

岡倉天心記念賞 唱新教授が受賞

岡倉天心の思想と行動を受け継ぎ、アジア地域統合に関する優れた研究をたたえる「第4回岡倉天心記念賞」(国際アジア共同体学会主催、毎日新聞社協賛)の受賞者に、『A I I Bの発足とASEAN経済共同体』(晃洋書房)の著者、唱新・福井県立大教授が選ばれた。本書は、中国が主導するA I I B (アジアインフラ投資銀行) とASEAN (東南アジア諸国連合) の双方がリーダーシップを発揮し、アジアが一体感を高める重要性を提示。「実証的かつ未来指向型」などと評価された。

また、『最後の三朝』

毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮』(上下、沈志華著、岩波書店)の訳者、朱建栄・東洋学園大教授と、『莫言の文学とその精神』(莫言の思想と文学』(莫言著、東方書店)の訳者、藤井省三・東大教授と中国の林敏潔・南京師範大教授に岡倉天心翻訳賞が贈られた。【岸桂子】